

[コード: 7230131]

めっき浸漬剥離剤

K S T - 1

PLATING STRIPPER: K S T - 1

“KST-1”は、鉄素地上、銅・銅合金上のメッキの剥離剤です。浸漬するだけで素地上のニッケルメッキ等を素地を腐食・損傷することなく短時間で剥離することが出来ます。

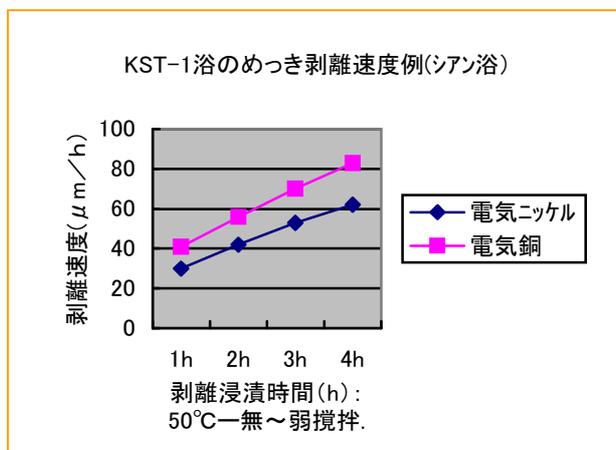
1. “KST-1”の適用範囲

- (1) 鉄素地上のニッケル、銅、亜鉛、銀めっき等の剥離。 【シアン浴】
- (2) 銅及び銅合金素地上のニッケル、亜鉛、錫めっき等の剥離。 【硫酸浴】

2. 剥離能力

KST-1浴の剥離能力は、剥離条件やめっき皮膜の状態で異なりますが、標準条件における能力は「KST-1:1kg」当たり、概ね以下の通りです。※シアン浴

ニッケル: 約 280 g (≒380d m ² /10μm)
銅 : 約 460 g (≒520d m ² /10μm)



3. 使用方法

(1) 液組成及び作業条件

組成及び条件		鉄素地上のメッキ剥離	銅・銅合金素地上のメッキ剥離
KST-1		100 (50~120) g/L	100 (60~120) g/L
青化ソーダ		100 (60~150) g/L	—————
苛性ソーダ		15 (0~20) g/L	—————
硫酸 (98%)		—————	120 (50~150) mL/L
ロダンアンモン		—————	5 (4~7) g/L
作業条件	作業温度	50°C (25~60°C)	60°C (50~75°C)
	攪拌	品物が重なり合わないよう、品物の揺動/液流動攪拌する。	
	設備など	硬質塩化ビニール内張りタンク。排気ダクト必要。	

(注) 鉄素地上の剥離液: アルカリ性シアン浴は、猛毒性のシアン化合物を含み、高アルカリ性ですので、「MSDS」や法的規制事項を順守して取扱う必要があります。

《成分の働き、条件の管理》

◇シアン浴

- ①KST-1・・・濃度が高い程剥離量は多くなりますが、ニッケルメッキを剥離する場合は比較的高めに、銅・銅合金・亜鉛・銀メッキ等の剥離の場合は低め：50～80g/Lが効果的です。
- ②青化ソーダ・・・ニッケルメッキを剥離の場合は低めに、他のメッキの場合は多めに使用します。
- ③苛性ソーダ・・・ニッケルメッキを剥離する場合は添加した方が速度が速まります。
- ④温度&攪拌・・・温度が高い程、剥離速度はアップしますが、青化ソーダの分解が起こりますので60～65℃以上に上げないようにして下さい。
攪拌は剥離速度を維持し、均一に剥離するために有効です。
- ⑤前処理・・・上層にクロムメッキがある場合には、塩酸などで隔離した後、KST-1剥離液に浸漬して下さい。又油やグリスが付着している場合には前もって脱脂し剥離液に浸漬して下さい。
- ⑥剥離能力・・・「KST-1：1kg」当たり、概ねニッケル：250～280g、銅：400～460g可能です。が、剥離条件やメッキ皮膜の状態で異なります。
- ⑦薬品消耗量・・・電気Ni又は電気Cuの、各100gを剥離した場合の薬品消耗量
(シアン浴)

	10μmのメッキ	KST-1 消耗量	青化ソーダ 消耗量
Ni：100g	≒112d m ²	358～421g	352～414g
Cu：100g	≒112d m ²	104～122g	238～280g

(注) 参考データであり、実際の消費量を保証する数値ではありません。

◇酸性：硫酸浴

- ①硫酸・・・濃度が低いと剥離速度が遅く、高すぎる場合は剥離速度はアップしますが、素地の腐食が起こり易くなります。
- ②ロダンアンモン・銅の腐食抑制剤及びニッケル剥離促進剤としての作用があります
(NH₄CNS)ので必ず添加して下さい。
- ③温度&攪拌・・・通常、60～70℃で作業して下さい。
75～80℃以上：高すぎる場合は素地の腐食が起こり、低過ぎる場合には速度が遅く、溶解金属が再付着し易くなります。
攪拌は剥離速度を維持し、均一に剥離するために有効です。
- ④後処理・・・剥離終了後、銅及び銅合金の表面に黒褐色の皮膜が残りますので水洗後、3～5%の青化ソーダ溶液に浸漬し除去して下さい。
あまり長時間浸漬しておくと素地が犯されますので注意下さい。
- ⑤剥離能力・・・「KST-1：1kg」当たり、概ねニッケル：530～620gです。
(ニッケルメッキ：10μm厚の場合、大体600～700d m²の処理面積)

(2) 建浴方法上の注意

- ◇シアン浴：剥離槽で青化ソーダと苛性ソーダを溶解し、別容器で溶解したKST-1溶液を混合します。**注) 固体のままでは絶対に混合溶解しないで下さい。**
- ◇硫酸浴：剥離槽に水を1/2程度入れ、硫酸を投入して攪拌した後、35～40℃以下になってからKST-1を加え攪拌して溶解して下さい。

4. 取り扱い上の注意

- (1) KST-1は、ご使用前に「MSDS」をよく読んでお取り扱い下さい。
- (2) KST-1剥離液の建浴、及び剥離作業に携わる場合には、適切な保護具（マスク、メガネ、手袋、長靴、前掛けなど）を着用、又作業上の換気をよくして作業して下さい。
- (3) 高濃度の廃液は専門の処理業者へ委託処理されることをお勧めします。特にニッケルを含むアルカリシアン廃液は通常の処理方式だけでは不十分です。